

1 指導目標

長期目標	はしの操作に慣れ、つかみやすいものをつかむことができる。 片仮名で名前を書くことができる。
短期目標	練習用はしを使って物をつかむことに慣れる。 縦横の直線の線引きをできるようになる。

2 指導項目

キーポイント	段階	実態	目標	6区分26項目との関連
① 学習態勢	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食事や学習のときに着席して取り組むことができる。 ・姿勢が崩れたときに、姿勢を戻すことができずそのまま離席することがある。 ・人に動きを合わせることで、身体ガイドを受け入れることが少しずつできるようになってきている。 ・教材を操作するときどちらの手も使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で姿勢を直すことができる。 ・さまざまな学習において、教師からの身体ガイドを受け入れられるようになる。 ・支え手を置いて、利き手で教材を操作することができる。 	3 人間関係の形成(1) 5 身体の動き(1)(3)
② 指示理解	1	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な指示に応じることができる。 ・担任が促すことで少しずつ修正に応じることができるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングなど答えが明確な学習課題や、あらかじめルールが決まっている活動等で、修正が求められたときに自分から直すことができる。 	3 人間関係の形成(1)
③ セルフ マネジメント	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りの簡単なことに取り組むことができる。 ・バランスボールを使って体を休めることがある。 ・手順書を使いながら活動を進めていくことは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由時間にバランスボールに乗って過ごすことができる。 	2 心理的な安定(1)
④ 強化システムの 理解	1	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな食べ物や飲み物、感覚過敏がある。絵本や玩具等にはあまり興味関心を示さない。特定の大人と関わることも好きである。 ・本人の目の前にある食べ物であれば、複数の選択肢から選ぶことができる。 ・実行機能の弱さがあり、楽しみなことを目標にして取り組むこと（目標をイメージすること）は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物（食べ物以外）での選択、写真カード（食べ物）を用いた選択ができるようになる。 ・好きな遊びを増やす。 	3 人間関係の形成(1)

⑤ 表出性のコミュニケーション	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物など欲しいものがあるときには大人に、発声や身振りで要求を伝えることができる。 ・伝え方が分からないときには、直接的な行動（その場所に行く等）をすることもできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな教師に要求を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2 心理的な安定(1) 3 人間関係の形成(1) 6 コミュニケーション(1)
⑥ 模倣	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の動きを見て、同じように移動ができる。 ・ジャンプする、筆で色を塗るなど簡単な動きの模倣ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つずつの動きを正確に模倣することができる。(例：ラジオ体操や気を付けの姿勢) 	<ul style="list-style-type: none"> 3 人間関係の形成(1) 5 身体の動き(3)
⑦ 注視物の選択	1	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなもの（食べ物など）に注目することができる。 ・指示棒で示された箇所に注目することができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示棒や指差しで示された箇所に自分から注目できる。(例：カードを貼ったり、ブロックをはめたりすることができる。) 	<ul style="list-style-type: none"> 4 環境の把握(2)

3 具体的な指導内容

具体的な指導内容	指導形態 (教科等名)	指導場面	キーポイント
・バランスボールに座って、一定時間姿勢を保持する。(教師や友達の動きを手本にする)	体育, 国語, 算数	体育の「バランスボール運動」 国語, 算数の「頭の準備運動」	①学習態勢 ⑥模倣
・教師の持つ棒の位置に合わせて、キューブを差す。教師の持つキューブの位置に合わせて、棒を差す(片手を机の上に置き、もう片手で棒やキューブを持つ)。	算数	個別の課題学習	①学習態勢 ②指示理解
・指示棒や指差しで示された絵と同じ絵を選んで貼る。	算数	個別の課題学習	⑦注視物の選択
・指示棒や指差しで示された箇所にシールや紙を貼ったり、色を塗ったりする。	生活単元学習	活動	⑦注視物の選択
・給食で食べたい物を教師に伝えることができる。	日常生活の指導	給食	④強化システムの理解 ⑤表出性のコミュニケーション